

# 戦争法案 7/15 衆議院で強行採決!

日本が再び「戦争する国」にならないように廃案にしましょう!

- 原水禁大会に参加して、参加者が同じ方向に向かっている連帯感、統一感に感動した
- 「赤紙」がきても、自分の子ども・兄弟は絶対戦争には行かせない!
- 自分は一八歳のとき原水禁大会に行った。戦争はダメだということを学んだ。廃案にするまで頑張らなくては!
- 友達に会って安倍首相の批判をしたら、みんな興味津々聞いてくれ、得意になって話をした。みんな応援してくれた。
- 中病にいたときに原水禁大会(広島)に参加した。自分よりも若い職員の行動力と思い感化され、自分も頑張らなければと思った。
- 安倍さんが戦争に行くわけではなく、若い人が行くことになる。医療人は先に行かされる。このまま戦争法案が通ってほしくない。原爆も戦争もダメ!

「戦争法案について」「代表への期待」を参加者全員が発言しました。

その一部ですが、掲載します。

戦争法案反対と安倍首相に対する怒りのみんなの思いを伝えていきたいと思えます。

中田智大さん  
(事務)の決意



## 秋山直香さん(看護師)の決意

小学生のとき原爆の本を読んでいた。小学生で長崎の原爆記念館に行った。怖くて怖くて、トラウマになるほどだった。高校生のとき広島の原爆記念館で見た原爆被災のリアルな人形(右写真上段)が来年度撤去されることを知り、また「はだしのゲン」を学校の図書館から排除する話を聞いて、とてもショックでした。戦争のゲームなどで慣れっこに若者はなっているが、戦争のグロテスクなところ、ショッキングなところを隠してはいけないと思う。私の子どものときの印象がどうなっているか確かめてきたい。戦争はしてほしくない。戦争について学んできます。

- 四三年前、一九歳で芦別原水協の代表で世界大会に参加した。市長や農協組合長のところに足を運び、また一軒一軒訪問しカンパをもらって参加した。その当時は、ベトナム戦争反対の運動が盛んだった。「反戦争」の歌を作ったので、またそのうちに披露させてもらいます。
- 子どもの時の、今の自分の気持ちを、さらに学んだことを語っていききたい。
- いつも原水禁大会に送り出す方だった。戦争や原爆の体験者の話を聴いてきてほしい。
- カンパを集めるのにもっと楽しい取り組みをしましょう!グッズを販売するとか、焼肉パーティーをするとか。今の自衛隊を維持するには、若者の三〇人に一人が入隊しなければならぬという。戦争をすることになるのもっと多くの若者が...
- 原水禁大会では写真をいっぱい撮ってきて報告会で見せて下さい。戦争法案はだんだんと怖いと分かってきた。

平診九条の会

かべしんぶん

2015年8月号

(通算21号)

発行: 平診9条の会



七月二一日、九条の会運営委員会を開催しました。原水禁世界大会に代表派遣する二人の職員の壮行会を兼ね、二二名の職員が参加しました。

# 原水禁世界大会報告会

8月18日(火)17:30より 平診リハビリ室

どの世論調査でも、安倍内閣の不支持率は50%以上、支持率は30%台となっています。

## わたしたちは戦わない!

### 北海道集会(7月11日)6千人



## 学生も・青年も頑張っています

SEALDs(自由と民主主義のための学生緊急行動)  
1万5000人抗議 7月10日国会前

最後に、代表派遣される二人から、「たくさんのお話を聞き、見てきます」「戦争はしてはいけないということをしつかり学んできます」と決意表明がありました。

- 政治家は国民の代表なのに、なぜ私たちの意思が反映されないの!?
- 国民がこんなに反対しても、戦争法案をなぜ通そうとするのか、理解できない!
- 昨年大会に参加した。「戦争は本当にダメだ」ということを実感した。
- 私の父も戦争に行つて、その時のカバンもあったが、父から戦争の話は一度も聴くことがなかった。甥(おい)が自衛隊にいるが、胸がつまる気持ちです。
- 五年目の時に大会に参加した。ホンワリと戦争は怖いと思っていたが、今では怖さを肌で感じます。
- 三九年前二五歳で広島大会に参加した。語り部の話が印象的でした。核兵器をなくす連帯感があった。戦争にこんなにも反対しているのに、日本はアメリカ国日本州のように安倍さんは振舞っている。学者と学生の連帯も力強い。



## あさがお写真展

### 9月12日あしべつ健康まつりより開始します

平診花畑だけでなく街の美しいあさがおの写真も出展して下さい

# アベ政治を許さない

★2015年7月18日(土)午後1時★  
このコピーを一人ひとりが道行く人に見えるようにかかげるのです。一人で悩んでいる人、誰にも声をかけられない人はわが家の前で、あるいは窓辺で。どこでも、あらゆる形で。東京は国会議事堂前、その他主要駅頭などで。全国すべての駅、学校、街、村、会場の外など。示すのは勇気のある世の中かもしれません。「許さない」勇気が試されます。政治の暴走をとめるのは、私たちの義務であり、権利でもあります。

呼びかけた人 澤地久枝  
(九条の会呼びかけ人)